

プラント状況確認結果(平成25年2月5日～2月12日)

平成25年 2月 12日
福島県原子力安全対策課

○ 平成25年2月5日～2月12日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡を1件(特記事項参照)を受けましたが、プラントの新たな異常はありませんでした。

また、発電所敷地境界モニタリングポスト、発電所専用港内の海水中の放射性セシウム濃度には、有意な変動は見られませんでした。

(1) プラント状況(2月12日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.5	5.6	5.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	18.6	31.5	31.6	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 (Bq/cm ³)(A系)	1.63×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.00	0.03	0.17	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	10.5	11.3	8.7	20.0

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(2月12日午前10時)

最小 2.8(MP6)～最大 6.5(MP7) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中のセシウム137濃度の測定結果(2月11日採取分)

最小 6.8(物揚場前)～最大 83(3号機スクリーン(シルフェンス内側)) ベクレル/リットル

【特記事項】

- ・2月7日 3号機使用済燃料プールにおいて、2月6日に実施した鉄骨トラスがれきの撤去作業に伴い、燃料交換機マスト(伸縮性のポール、長さ約5～23m、重さ約1.5トン)と思われるがれきが水没したことを画像により確認した。これによる燃料への影響を評価するため、プール水のサンプリングを2月7、8、10日に実施し、放射性セシウム及びヨウ素131の値に変動がないことを確認した。今後、水中カメラによる状態確認調査を実施する予定です。

(問い合わせ 024-521-1917)